

# 社会福祉法人 中心会 中心荘第二老人ホーム ショートステイ

普段はご自宅で生活されている**認知症**の方が、短期間施設で宿泊できるサービスです。

自宅と同じ様にご自分のペースで生活ができるよう、お手伝いさせていただきます。

対象となるのは徘徊・大声・異食・弄便・収集行動・世話焼き行動などが見られる方です。

## スタッフアンケートによる**中心荘の魅力**をご紹介します！！

### 介護技術

「持ち上げない介護※」・「身体拘束ゼロの介護」に取り組んでおり、  
新人職員のみでなく中堅・ベテラン職員も介護技術や感染症対応の  
研修を定期的に行っています。

※「神奈川らくらく介護宣言」のパンフレットに紹介されました！

繰り返して研修をしているので**自己流**  
にならない取り組みをしている。

スライディングボードやシートを活用して**持ち上げない介護**を実践しているから、**利用者に優しい**。

### お食事

毎日の献立に工夫があるのはもちろん、お誕生日などのお祝いの日  
や行事のある日は特別な食事をご用意いたします。  
皆様のリクエストを毎月伺い食事・おやつにお出ししたり、調理師  
が食堂に来て皆様の目の前で調理するサービスも行っています。

毎月1回、**日本の郷土料理シリーズ**で地方の  
料理を提供している。

季節を感じるができる食事のメニュー  
**お弁当**や**ラーメン**などバリエーションがある。

餃子がジュージュー  
良い香り～！！



ワゴンサービスの様子

\*ご自分で購入された食品や、ご家族が持参された食べ物や飲み物なども自由にお召し上がりいただけます。



## 一日の過ごし方（例）

お迎え 送迎車に乗り中心荘へ



認知症の症状で「送迎車に乗らない！」と言われても、時間をおいて、職員を変えて、トライします。職員は認知症の方の介護方法を熟知しています。

到着後、体温測定



浴槽は一般浴槽・座位式・臥床式が利用できます。特養併設なので、看護師が皮膚の処置やバイタル測定、お薬の確認などお手伝いできます。

午前（または午後）入浴

12:00 昼食

13:00 レクリエーション

歌、体操などの他、流し素麺や餅つきなどの季節行事も企画しています。また、それぞれの認知症の周辺症状に合わせて、個別のレクリエーションを提供できます。その方が得意だったこと、趣味としていたこと、生活リハビリなど、どんなことをして過ごしていただくか、ケアマネジャーと連携しながら介護計画を作成します。

午後（または午前）入浴

15:00 おやつ



18:00 夕食

20:00頃 就寝



認知症の方は暗くなってくると不穏になったり、帰宅願望で落ち着かなくなることがあります。少しでも居心地良く感じていただけるように、訴えを受け止め、安心できるような関わりをいたします。

・ 認知症になっても住み慣れた地域での生活を続けたい

・ 引きこもりがちな認知症の方も孤立せずに楽しく過ごしたい

・ 認知症になったご家族との生活への不安を解消したい



お問い合わせ・お申し込み

営業日：年中無休

送迎車は土日がお休みです。

ご家族送迎でしたら土日のご入所・退所は承ります。

☎ : **046-231-7152**

生活相談員 藤本・須永・大乘 まで

認知症の症状で利用をお断りすることは絶対にありません。

お気軽にご連絡ください

